

米軍関係者による交通事故の再発防止について（要請）

令和元年5月29日、北関東防衛局から、「令和元年5月27日、横田基地第374空輸航空団所属の人員が、酒気帯び運転により、千葉県内において物損事故を起こし、その後日本の警察が対応した」との情報提供があった。

横田基地では、今月12日にも、所属の軍人が、福生市及び羽村市内において、酒気帯び運転による物損事故を起こして逮捕されており、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、再発防止等を求めたばかりである。

また、今月20日には、横田基地からも、広報部長名で、「空軍兵はメモリアルデー（5月27日）等の長期休暇前には、安全に関するブリーフィングを受けます。今後同じような事故が起こらないよう、あらゆる手段を講じて空軍兵を教育していきます。」とのコメントが出された。

しかしながら、酒気帯び運転による事故という、非常に危険かつ悪質な事故が短期間に再度起きたことは、基地周辺住民の不安を増大させるとともに、これまでも再発防止等を要請してきた経緯を踏みにじり、住民感情の悪化を招きかねないものであり、極めて遺憾である。

については、次のとおり強く要請する。

<要請事項>

- 1 事故の経緯や背景等について究明するとともに、基地外での飲酒の禁止等具体的な再発防止策を早急に講じること。
- 2 米軍関係者に対する教育及び綱紀粛正の更なる徹底を図ること。
- 3 以上の対策を速やかに実施し、関係自治体に情報を提供すること。

令和元年5月30日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	昭島市長	白 井	伸 介
	立川市長	清 水	庄 平
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之